

# 提 案 概 要

実施期日	8月1日(金)
部 会 名	中学校 道徳部会

**1 提案テーマ** 『よりよく生きようと共に考え、共に語り合う道徳の授業づくり』

**2 単元(題材)** 東京遠足(神奈川県道徳 きらめき1)

**3 学年** 第1学年

## 4 平成25・26年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

研究主題「生きる力としての豊かな人間性をはぐくむ道徳教育の指導及び評価の工夫・改善」

- ① 生徒自ら課題に取り組み、他とかかわりながら自ら考え生きようとする道徳教育の推進
- ④ 道徳の時間の指導と評価の在り方

## 5 学習指導要領との関連(内容項目)

第3章 道徳 第2 内容 2(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

## 6 実践に向けての課題意識

本校の学校教育目標「自立・共生」を受け、次のとおり目指す生徒像を明確にし、全職員で共有している。

- ・自ら学び、考え、判断し、行動する生徒
- ・互いに認め合い、学び合い、高め合う生徒
- ・ねばり強く、遅しく、努力を惜しまない生徒

上記を本校の重点目標とし、道徳教育に意識的に取り組んでいる。

道徳の授業の課題として、生徒と教師の間だけで、生徒同士の意見のやりとりがなかったことが挙げられている。互いに認め合い、学び合うためには、生徒同士の対話を大事にした実践を行う必要がある。

## 7 実践の概要

昨年度、本校で取り組んできた道徳の授業を基本として行い、その中の課題であった「生徒同士のやりとりがないこと、模範的な解答をしてしまう生徒が多いこと」を改善するよう努めた。今回の実践では、最初に生徒が自分で考える時間をつくり、各自が自分の意見をもってから、教師が意図的に指名して、生徒同士が意見交換する場を増やした。また、模範的な解答ではなく、自分自身の考えが述べられるように、主人公を弁護する意見や批判する意見などさまざまな立場の意見を取り上げ、自分の考えを発表しやすいように環境を整えた。

## 8 成果と課題

<成果>

- ・最初に自分で考える時間をつくったことやさまざまな意見を取り上げたことにより、生徒一人ひとりの思考が深まった。
- ・教師が意図的に指名することにより、他の生徒の意見で生徒の心情に変化を与えることができ、思考が深まった。

<課題>

- ・今回は、主人公の考え方や行動に関する発問に限定したため、今後は、題材によっては主人公だけでなく他の登場人物に関する発問を設定するなど、幅を広げて意見をつないでいくことも考えられる。
- ・自分の考えをもち、他の生徒と意見を交流させる場をもっと設定する必要がある。

## 9 予想される協議の柱

- ・読み物教材を使うことについて
- ・道徳の時間の評価について